【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2016-143935(P2016-143935A)
【公開日】平成28年8月8日(2016.8.8)
【年通号数】公開・登録公報2016-047
【出願番号】特願2015-16251(P2015-16251)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｈ　9/10　(2006.01)
Ｈ０３Ｈ　9/19　(2006.01)
Ｈ０３Ｈ　9/215　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｈ　9/10
Ｈ０３Ｈ　9/19　Ｊ
Ｈ０３Ｈ　9/215

【手続補正書】
【提出日】平成29年11月24日(2017.11.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基部と該基部より延出する振動脚と支持脚とを備える振動子をパッケージに配置した振動子ユニットであって、
前記支持脚には前記パッケージと接着剤で接着される支持脚接着部を有し、
前記支持脚接着部の前記パッケージと接続される支持脚接着面の幅は、前記支持脚における前記基部と連結する支持脚接続部の幅に対して細くなっていることを特徴とする振動子ユニット。
【請求項２】
前記基部にも前記パッケージと接着される基部接着部を有し、
前記支持脚接着部と前記基部接着部とで囲まれる領域内に前記振動子の重心位置が存在することを特徴とする請求項１に記載の振動子ユニット。
【請求項３】
前記振動脚は二脚であり、前記支持脚は二脚の前記振動脚の間に延出されていることを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の振動子ユニット。
【請求項４】
前記支持脚接着部の断面形状において、前記支持脚接着面の幅が前記支持脚接着部の他の面の幅よりも小さいことを特徴とする請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の振動子ユニット。
【請求項５】
前記基部にも前記パッケージと接着される基部接着部を有し、
前記パッケージには、前記接着剤が塗布される接着剤塗布部を有し、
前記接着剤塗布部の上面から前記支持脚接着面の下面までの間隔を、前記接着剤塗布部の上面から前記基部接着部の下面までの間隔よりも大きくすることを特徴とする請求項１から請求項４のいずれか１項に記載の振動子ユニット。
【請求項６】

前記支持脚接着部の断面形状において、前記支持脚接着面の幅が前記支持脚接着部の横方向の最大幅よりも小さいことを特徴とする請求項１から請求項５のいずれか１項に記載の振動子ユニット。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
また、支持脚接着部の断面形状において、支持脚接着面の幅が支持脚接着部の他の面の幅よりも小さくすると良い。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
また、基部にもパッケージと接着される基部接着部を有し、パッケージには、接着剤が塗布される接着剤塗布部を有し、接着剤塗布部の上面から支持脚接着面の下面までの間隔を、接着剤塗布部の上面から基部接着部の下面までの間隔よりも大きくすると良い。
さらに、支持脚接着部の断面形状において、支持脚接着面の幅が支持脚接着部の横方向の最大幅よりも小さくすると良い。